



闽文化研究

冰心题



福建省闽文化研究会主办
天津古籍出版社

閩文化研究

冰心題圖

第一輯

福建省閩文化研究会主办

天津古籍出版社

〔津〕新登字007号

闽 文 化 研 究

第一辑

福建省闽文化研究会主办

※

天津古籍出版社出版发行

(天津市张自忠路189号)

福建第二新华印刷厂印刷

开本850×1168毫米 1/32 9印张 209千字

1994年10月第1版 1994年10月第1次印刷

印数1—1000册

ISBN 7—80504—390—6

G·72 定价：8.80元

顾问 许怀中 俞元桂 李联明 谢冕

编委会主任 曾传兴 **副主任** 林德荣

主编 何绵山 连诚谦 黄建国

目 录

发刊词	何绵山 (1)
闽文化研究纵横谈	何绵山 (4)
闽北文化概论	黄建国 (29)
试论宋代闽北文化繁荣的原因	林启瑞 (68)
略论福州的文化特色	杨 树 (72)
漳州锦歌源流特色及其影响	蒋水石 (78)
从“穿灯脚”谈民俗文化	洪振垣 (83)
闽地“闪电婆”传说初探	徐贯行 (90)
福建的民间游艺竞技	林 阳 (95)
论建州方言	徐贯行 (99)
福建地方村落共同体的原始聚合形态	吴松青 (105)
南少林揭秘	林德荣 (115)
妈祖信仰与闽台关系论略	林惠中 何剑锋 (130)
基督教在福建	青 山 (144)
试论武夷山道教旅游资源的开发	林 荔 (152)
两宋时期闽人词的特点	陈石怀 (159)
论赵以夫的词	耳 东 (181)
论清代闽词	欧阳少鸣 (189)

李贽“童心说”的内涵及其历史意义·····	连诚谦(208)
试论邓肃及其《栟榈文集》·····	陈勋(221)
何适和他的《官梅阁诗词集》·····	连诚谦(232)
论陈梦雷·····	林惠中(244)
朱子簿同事迹考略·····	叶子青(250)
《朱子簿同事迹考略》补遗·····	连诚谦(260)
郑成功被封延平王考略·····	黄坚谷(262)
冰心与福建·····	邱守杰(264)
晋江瓷文化再绽新葩·····	张文贤(270)
长崎福建帮零星名册的探讨	

·····(日)黑木国泰著 杨白云译(272)

编后记·····	连诚谦(276)
----------	----------

研究之窗

闽地若干与闽文化有关刊物简介(71)福建省宗教研究会成立(104)台湾若干福建乡土杂志简介(114)新书架(180)武夷山朱熹研究中心出版系列朱熹研究丛书(188)《东南文化》简介(243),1993严复国际研讨会成果突出(259)《福建历代作家评传》再次获奖(271)福州道教文化研究会成立

Contents

Foreword.....	He Mian Shan (1)
A Free Talk on Study of Fujian Culture.....	He Mian Shan (4)
An Introduction to the Culture of North Fujian.....	Huang Jian Guo (29)
On the Reasons for the Cultural Flourishing in North Fujian in Song Dynasty.....	Lin Qi Rui (68)
Brief Talk on Fuzhou Cultural Characteristics	Yang Shu
Features and Effects of the Source	(72)
of Jin Songs in Zhang Zhou	Jiang Shui Shi (78)
A Talk on Folk Custom Culture From "Chuan Deng Jiao"	Hong Zhen Yuan (83)
First Survey on the Legend of "Thunder Goddess" in Fujian.....	Xu Guan Xing (90)
Folk Recreational Athletics in Fujian...	Lin Yang (95)
On Jian Zhou Dialect.....	Xu Guan Xing (99)
The Primitive Get-together Formation of the Community of Local Villages in Fujian	Wu Song Qing (105)
Expose the Secrvets of "The Shao Lin"	Lin Derong (115)

A Brief Account on Belief in Ma Zu Goddess and Relations between Fujian and Taiwan	Lin Hui Zhong He Jian Feng (130)
Christianity in Fujian.....	Qing Shan (144)
On Developing Taoist Tourism	
Resources in Wuyishan	Lin Li (152)
Features of Fujianese' Ci in Two	
Song Dynasties.....	Chen Shi Huai (159)
On Ci by Zhao Yi Fu	Erdong (181)
On Fujian Ci in Qing Dynasty	
.....	Ouyang Shao Ming (189)
The Connotation and Historical	
Significance of "Childlike Innocence"	
by Li Zhi.....	Lian Cheng Qian (208)
On Deng Su and his "Palm	
Anthology"	Chen Xun (221)
He Shi and his "Guan Mei Pavilion Poetry And	
Ci Anthology"	Lian Chen Qian (232)
On Chen Meng Lei.....	Lin Huizhong (244)
Brief Textual Research on Zhu	
Zi Bo Tong's Deeds.....	Ye Zi Qing (250)
Supplement to the Brief Textual	
Research on "Zhu Zi Bo Tong's	
Deeds"	Li Cheng Qian (260)
Textual Research on Zheng Cheng	
Gong Granted the title of Yan	
Ping Governor.....	Huang Jian Gu (262)

Bing Xin and Fujian.....	Qiu Shou Jie (264)
Booming Again in Porcelain	
Culture in Jin Jiang.....	Zhang Wen Xian (270)
A Survey on Fragmentary Namelist of Fujianese	
Group in Nagasaki.....	
Kuloki Kuniyas (Japan)	
.....Translated by Yang Bai Yun (272)	
Afterword.....	Lian Cheng Qian (276)
Study Column	

もくじ

発刊の言葉	何綿山 (1)
福建の文化の研究を縦横に論説する	何綿山 (4)
福建北部の文化の概論	黄建国 (29)
宋朝福建北部文化の繁栄の原因を試論する	林啓瑞 (68)
福州の文化の特色を論説する	楊 樹 (72)
漳州「錦歌」のえん源の特色とその影響	蒋水石 (78)
「穿燈足」から民俗文化を言う	洪振垣 (83)
福建稲妻伝説の初探	徐貫行 (90)
福建民間演芸の競技	林 陽 (95)
建州方言を論説する	徐貫行 (99)
福建地方村落共同社会の原始集まりの形態	吳松青 (105)
南の少林の秘密を解く	林德榮 (115)
媽祖を信仰する人と及び福建と台湾の関係について	
林惠中 何劍鋒	(130)
キリスト教は福建で	青 山 (144)
武夷山道教の観光資源の開発を試論する	林 荔 (151)
宋朝福建人の詩の特色	陳石懷 (159)
趙以夫の詩を論説する	耳 東 (181)
清朝福建の詩を論説する	歐陽少鳴 (189)
李贄「童心説」の内包及び歴史の意義	連誠謙 (208)
鄧肅とその《栟榈文集》を試論する	陳 勛 (221)
何適とその《官梅閣詩詞集》	連誠謙 (232)
陳夢雷を論説する	林惠中 (244)

朱子簿同の事蹟の考察	葉子青 (250)
《朱子簿同の事蹟の考察》補遺	連誠謙 (260)
鄭成功を延平王に任命されたことの考察	黄堅谷 (262)
永心と福建	邱守傑 (264)
晉江磁器の文化の新しい花がまた咲いている…	張文賢 (270)
長崎福建幫名簿零墨の紹介	黒木国泰 楊白雲 (訳する) (272)
編集の後の言葉	連誠謙 (276)
研究の窓	
(87) 日本書	漢書の多量な引用と漢文の「漢書」
(88) 長崎川	長崎の地名と長崎の歴史
(89) 竹光翁	長崎の竹光翁と長崎の歴史
(90) 魏 林	魏林の長崎門外史
(91) 竹光翁	竹光翁の長崎門外史
(92) 青島突	青島突の長崎門外史
(93) 常呂橋	常呂橋の長崎門外史
(94) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(95) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(96) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(97) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(98) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(99) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(100) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(101) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(102) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(103) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(104) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(105) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(106) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(107) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(108) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(109) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(110) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(111) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(112) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(113) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(114) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(115) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(116) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(117) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(118) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(119) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(120) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(121) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(122) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(123) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(124) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(125) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(126) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(127) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(128) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(129) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(130) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(131) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(132) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(133) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(134) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(135) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(136) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(137) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(138) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(139) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(140) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(141) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(142) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(143) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(144) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(145) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(146) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(147) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(148) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(149) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(150) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(151) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(152) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(153) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(154) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(155) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(156) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(157) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(158) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(159) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(160) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(161) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(162) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(163) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(164) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(165) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(166) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(167) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(168) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(169) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(170) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(171) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(172) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(173) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(174) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(175) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(176) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(177) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(178) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(179) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(180) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(181) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(182) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(183) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(184) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(185) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(186) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(187) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(188) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(189) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(190) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(191) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(192) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(193) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(194) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(195) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(196) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(197) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(198) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(199) 長崎川	長崎川の長崎門外史
(200) 長崎川	長崎川の長崎門外史

发 刊 词

何 绵 山

本世纪三十年代的第一秋，以福建协和大学为主的部分师生成立了“福建文化研究会”，同年冬即创办了《福建文化》刊物。至1948年止，《福建文化》共出版了三十八期，发表了许多至今读来仍有较高学术价值的论文。这在当时艰难的条件下，实在是一个奇迹。我想，这主要得力于当时学人对闽文化的执着热爱和为阐发中华优秀传统文化而顽强拼搏的精神。九十年代中叶的今天，我们无论在哪个方面条件都要比三十年代不知道强多少倍，因此，发掘研究闽地文化应该比过去做得更好。

福建省闽文化研究会经过多年酝酿准备，创办了此刊，旨在为闽文化研究者提供发表研究成果的园地，借此进一步推动闽文化的研究。

在区域文化研究热不断升温的今天，闽文化以其独有的魅力而引起愈来愈多人的关注和兴趣。闽地一方面山区极为闭塞，甚至“不知有汉，无论魏晋”；另一方面海港船只远航世界，常领风气之先。因此，地僻东南，濒海多山的闽地既封闭又开放。静穆清幽的武夷山、富庶繁华的刺桐港孕育出的闽文化具有双向性：质朴务实又灵敏洒脱、尊重传统又勇于开拓、留恋乡土又热衷外出。闽文

化的形成也极为复杂：古越文化的遗风、中原文化的传入、海外文化的冲击、宗教文化的传播、近邻文化的渗透等，使闽文化极为丰富绚丽。这里既是中原古文化的聚宝盆，也是域外文化和中国文化的交汇点。此外，闽文化在各个方面都有其鲜明特点。如：在文学史上，闽地作家长于文论而不擅于小说创作；在音乐史上，南音被称为音乐史上的活化石；在戏曲史上，梨园戏、莆仙戏等地方戏亦被称为“南戏”活化石；在哲学史上，闽地是朱子理学的故乡；在教育史上，闽地不仅官学私学并举，还兼有教会办学和华侨兴学；在民俗史上，闽地的妈祖、陈靖姑、吴真人三大民间信仰风行海内外；在建筑史上，闽地的洛阳桥、永定土楼、闽南民居等令人赞叹；福建的方言最复杂，福建的刻书业亦别有特点……。秦汉闽越文化、唐代漳州文化、五代闽国文化、宋代建州文化、宋元刺桐文化、明代月港文化、近代侯官文化等，都曾各领风骚。如近代的侯官虽然是弹丸之地，且远离政治文化中心，却在短时期崛起了林则徐、严复等一批杰出人物，故一时有“晚清风流出侯官”之说。这些扑朔迷离的文化现象，也为闽文化添增了魅力。

研究闽文化不仅可以发掘闽地文化遗产，其特殊意义还在于可以增强海外华侨对闽地的向心力和凝聚力，沟通海峡两岸的文化交流。据统计，祖籍闽地的海外华人约为870多万，占全国海外华人总数三分之一；台湾亦有80%的同胞祖籍福建，闽台血缘同宗，文化同流。许多闽籍台胞千方百计还回故里，或献上一片爱心，或寄以

无限深情。不少事例，令人振奋，催人泪下。

研究闽文化是一件有意义而又艰巨的工作。虽然我们的工作刚刚开始，虽然我们的研究还十分肤浅，但我们仍然不自量力地希望这本辑刊能引起有关同行的兴趣，希望能得到有关专家的帮助和指点。

94.4 于福州

北门铜盘

闽文化研究纵横谈

何 绵 山



与其它区域文化研究相比，闽文化研究显然还较为沉寂，还不是那么热火，也没有形成某种阵势，但近年也有了很大的进展。这种进展主要表现在以下几个方面。

一、召开了各种与闽文化有关的研讨会，从不同方面对闽文化进行了研究，开掘了闽文化研究的深度，丰富了闽文化研究的领域。如1992年10月在安溪召开的“纪念李光地诞辰三百五十周年暨李光地学术讨论会”从各个角度对李光地进行研究，涉及经学、文学、史学、艺术、政治、哲学等各个方面，对李光地做出了新的评价，会后由厦门大学出版社出版了《李光地研究论文集》。1992年11月，在惠安召开了“惠安民俗学术研讨会”，其中心议题是惠安民俗及其相关的闽台民俗的调查与研究，研讨内容涉及惠安民间信仰、惠东民俗、惠安百崎和郭厝回族习俗等。1993年5月，在南平召开了“第二次空海学术讨论会”，会议对空海在福建的行踪、空海的书法艺术、空海入唐与中日文化交流、空海与真言密教等进行了研究和探讨，对这位与福建有着密切关系的弘法大师做了多方面的考证。1993年8月，在福州召开了“福州话学术研讨会”，会上对福州话研究小组所著论文集《福州话研究》进行了交流，并就福州话的各个方面进行了研讨。1993

年8月，在福州、古田两地举行了“陈靖姑文化研讨会”，会上就陈靖姑信仰、陈靖姑传奇及怎样研究陈靖姑等进行了研讨和交流。1993年10月，在福州召开了“榕树乡土文学研讨会”，会上就怎样以福州著名历史人物和其它历史题材为题材进行创作等问题进行了探讨和研究。93年10月，在将乐召开了“纪念杨时诞辰940周年学术研讨会”，会议从不同角度对杨时廉政恤民、爱国重教等面方进行了探讨。1993年10月，在武夷山召开了“朱熹国际学术研讨会”，会议围绕朱熹与中国文化等问题进行了研究，进一步拓展了朱熹的研究领域。1993年11月，在漳浦召开了“海峡两岸蓝鼎元学术研讨会”，会议对蓝鼎元的学术成就、治台策略及功绩等进行了研讨。1993年11月，在福州召开了“严复国际学术研讨会”，与会者围绕严复研究的历史和现状、严复与中西文化、严复的历史地位及其影响等问题进行讨论，尤其在严复后期思想、活动的研究上取得了突破性的进展。会议论文集将由海峡文艺出版社出版。1993年12月，在福州召开了“福建基督教研讨会”，会议就基督教在福建的传播、基督教在福建的现状、基督教与福建民间社会等进行交流和研讨。

二、陆续发现了一些对研究闽文化极为重要的文物和资料，为进一步研究闽文化提供了不可或缺的条件。近几年的如：1991年11月在漳平市冰福镇柴阳村发掘了一处古墓，从中发现了一具明万历二十八年安葬的道士尸体，其胡子油黑，肌肉有弹性，头戴一顶莲花瓣漆金木刻道帽，身穿灰色道袍，左手拿一方二公分木印，右手拿一把竹柄纸扇，腰缠一条描金带，胸前安放一块约三十公分的木笏和七枚“万历通宝”方孔钱。这具道士遗体，对研究闽西古代宗教民俗文化的演变，提供了宝贵的文物资料。1991年底，在福州冶山省建行营业大楼建筑工地上，发现了两千多年前的汉初建筑遗址，可贵的是其中有的板瓦内壁戳印有文字，如

“亚”形字，是蝮蛇头的像形，金文中是“它”字，又释为“虫”，“蛇”。这是最早的“闽”字，也是研究汉初闽越国的建筑和闽越文化的珍贵实物。1990年2月，在福州市杨桥路茶园山小学内的南宋许峻墓中出土了一个金执壶，器身遍布双鹊组成的金团花图案，工艺精湛，对于研究福建宋代时期金银器制造业的工艺水平有着重要的参考价值。1990年，建窑遗址出土了一件完整的黑釉茶盏，盏外壁在接近底部处，釉层垂聚呈水滴状，是古文献记载而失传已久的建窑“鹧鸪斑”茶盏。1993年，邵武市和平镇和平村在一户农民旧厅堂墙壁上发现一幅清代八仙图的壁画，宽3米，高2米，画面上是八仙降妖的人物像，左下方有一对腾云驾雾的青年男女，为研究我省早期壁画的珍贵实物。1993年，漳浦县在对土楼堡的专题考古中，发现有4座目前国内年代最早的土楼堡建筑，即：建于明嘉靖三十七年，位于绥安镇马坑村的“一德楼”；建于明嘉靖三十九年，位于霞美镇过田村的“貽燕楼”；建于明隆庆三年，位于霞美镇运头村的“庆云楼”；建于明万历十三年，位于旧镇潭仔头村的“晏海楼”。长期以来，考古学界都认为土楼堡建筑年代最早是建于明万历十九年，为位于华安县的“齐云楼”，漳浦县土楼堡的发现均早于这个年代，对于研究土楼堡的建筑史具有重大的意义。1992年，在东山县发现一批和台湾有关的动物化石，经考证，是从华北经福建东山迁徙至台湾的，它说明台湾海峡曾经是陆地，台湾曾经和大陆连在一起，这些哺乳动物与古人类就是从福建东山经台湾海峡而迁徙到台湾。这些化石的发现是闽台历史渊源的重要见证，对研究闽台史前关系具有重要意义。1993年，在漳浦县佛昙镇大坑村大芸山西面发现6组商周时期珍贵岩画，由于画面极为原始、神秘，被称为“仙画”。专家们认为它是我国东南沿海地区最重要的岩画之一，反映了东南沿海地区的先民对于生殖、图腾和星象的崇拜意识，对于研究福建原始人